

ご家族様・面会を希望される方へ ～面会中止の継続に関するお知らせ～

現在、新型コロナウイルスの感染により、ご面会・病棟への立ち入り等を全面的に中止とさせて頂いているところですが、いまだ終息の気配はなく、先日国からも以下の発表があった通り、予断を許さない状況です。

◆新型コロナウイルス感染症対策専門家会議

「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言(2020年3月19日)」より抜粋

- ・大多数の国民や事業者が、人と人との接触をできる限り絶つ努力、「3つの条件が同時に重なる場」を避ける努力を続けない場合には、感染に気づかない人たちによるクラスター(患者集団)が断続的に発生し、その大規模化や連鎖が生じ、オーバーシュート(爆発的患者急増)が起こりかねない。
- ・軽症状者が感染に気がつかないまま街を出歩いて感染を拡大させている可能性があり、地域の皆さん全員が「3つの条件が同時に重なる場」を避けるなどの行動変容を徹底することが極めて重要。
- ・現在、安全な規模や地域による基準を設けられるような科学的な根拠はなく、これまでの事例から判断するしかない状況。国内外の現在の感染状況を考えれば、短期的収束は考えにくく長期戦を覚悟する必要がある。
- ・国内外での分析によっても高齢であれば比較的健康であっても感染し、重症化する可能性が高い。
- ・高齢者や持病のある方に接する機会のある、医療、介護、福祉ならびに一般の事業者で働く人は一層の感染対策を行うことが求められる。

この発表を受け、当院としては面会中止の措置を、国より安全性の確保に関する

発表があるまで、今後も継続とさせて頂きます。(解除の際は改めてご連絡致します)

また、同期間中は以下につきましても、引き続きご自粛下さいますよう、ご協力を宜しくお願い致します。

① 1F ロビーにおける患者様のリハビリ訓練のご見学 及び 長時間のご滞在

→ 屋内に多数の方が集まる事により、感染リスクが高まる可能性がある為

② 医師による症状説明などの、特別なご用事がない方のご来院

→ 外部からの感染リスクを低下させる為

制限が長期となり、皆様には大変ご迷惑をお掛け致しております。当院と致しましても患者様の安全最優先

を考慮した、やむを得ない措置である事を何卒ご理解の上、引き続きご協力頂きますようお願い致します。

小平中央リハビリテーション病院 院長

院内感染防止対策委員会



を避けて
外出しましょう!



①換気の悪い
密閉空間



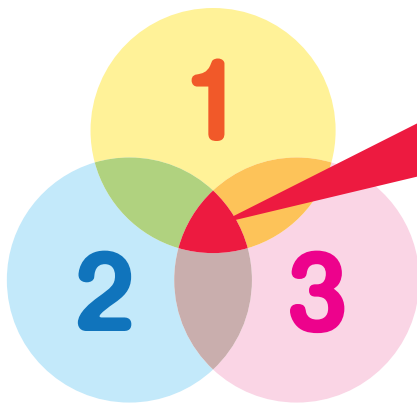
②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
イベントや集会で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

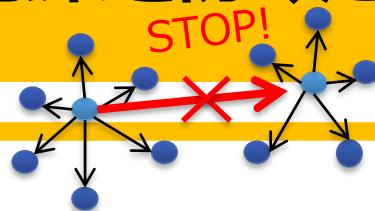


3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。



新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために



感染拡大を防ぐために

国内では、散発的に小規模に複数の患者が発生している例がみられます。この段階では、濃厚接触者を中心に感染経路を追跡調査することにより感染拡大を防ぎます。

今重要なのは、今後の国内での感染の拡大を最小限に抑えるため、

小規模な患者の集団（クラスター）が次の集団を生み出すことの防止です。

<感染経路の特徴>

※「小規模患者クラスター」とは
感染経路が追えている数人から数十人規模の患者の集団のことです。

- ◆ これまでに国内で感染が明らかになった方のうちの8割の方は、他の人に感染させていません。
- ◆ 一方、**スポーツジム、屋形船、ビュッフェスタイルの会食、雀荘、スキーのゲストハウス、密閉された仮設テント**などでは、一人の感染者が複数に感染させた事例が報告されています。

このように、集団感染の共通点は、特に、

「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。

国民の皆さまへのお願い

- ◇ **換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。**
- ◇ イベントを開催する方々は、風通しの悪い空間や、人が至近距離で会話する環境は、感染リスクが高いことから、その規模の大小にかかわらず、その開催の必要性について検討するとともに、開催する場合には、**風通しの悪い空間をなるべく作らない**など、イベントの実施方法を工夫してください。

これらの知見は、今後の疫学情報や研究により変わる可能性があります。現時点で最善と考えられる注意事項をまとめたものです。

厚生労働省では、クラスターが発生した自治体と連携して、クラスター発生の早期探知、専門家チームの派遣、データの収集分析と対応策の検討などを行っていくため、国内の感染症の専門家で構成される「クラスター対策班」を設置し、各地の支援に取り組んでいます。